

**「子どもたちの自立を目指し、生きる力を育てる」****1 国、県、市の動向より**

- (1) 糸魚川市子ども教育 実践上の努力点 「郷土愛にあふれ 夢をかなえるひとづくり」  
＜糸魚川市子ども一貫教育方針の基本理念＞
  - 心・健康・学力のバランスのとれた子ども
  - 一人ひとりの個性を生かしてその能力を伸ばし、子どもの夢を育てる
  - ふるさと糸魚川をよく知り、郷土を愛する子ども
  - 家庭、地域、園、学校が力を合わせて糸魚川の子どもを育てる
- (2) 学校教育の重点 「夢や希望をもって粘り強く挑戦するひとづくり」
  - 「主体的・対話的で深い学び」の実現 → 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援
  - いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成（道徳教育 特別活動 人権教育、同和教育）
- (3) 学校における働き方改革 → 超過時間の制限（月 45 時間 年：360 時間） 業務の検証・精選

**2 具体的な教育活動の展開にあたって**

- (1) 客観的な実態把握
  - ① 複数の目で見えた実態把握（チームでの把握 保護者の視点 関係者の視点）
  - ② 根拠に基づいた支援と説明責任 → 合意形成
- (2) 適切な指導と必要な支援
  - ① 児童生徒一人ひとりに応じた支援（個別学習でも集団学習でも）
  - ② 見通しをもった一貫性のある支援（関係する職員が共有・同じ説明）
  - ③ 人権に配慮した指導・支援
- (3) 学習指導要領の趣旨を生かした教育活動の推進
  - ① 社会に開かれた教育課程の実現（地域で生きる子どもたちへ）
  - ② 育成すべき資質能力の明確化
  - ③ 主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業改善
  - ④ ICT機器を効果的に活用した授業の工夫（何のためにどう使うかを明確に）
- (4) コミュニティ・スクールの推進（開かれた学校づくり、地域とともにある学校づくり）

学校運営協議会を活用し、学校と保護者、地域住民が一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」
- (5) 「チームひすい」による学校運営・教育活動の推進と改善
  - ① 学部、分掌、全体における確実な情報共有と連携した教育活動（報告、連絡、相談）
  - ② 複数の目で互いの業務を確認・支援。
  - ③ 職員同士が連携し、ワークライフバランスの視点を加えた業務改善
- (6) 教職員の専門性の向上（スキルアップ・キャリアアップ）

校内外の研修への積極的な参加（リモートを含む）

  - ア 市教育研究会、県教育センター、特別支援教育研究会等の研修会の活用
  - イ 上越教育大学の公開講座、教育団体等の研修会の活用
  - ウ 職員間での情報交換と成果の共有（学び合い）
  - エ 各種専門機関、専門家等との連携
- (7) 糸魚川市の教職員としての使命の自覚と業務の遂行
  - ① 児童生徒、保護者、地域のニーズを念頭に置いた教育的支援
  - ② 学校や地域に職務を通して貢献